

地震や台風、大雨などの「災害への備え」はできていますか？

近年国内では台風や集中豪雨などにより、浸水害や堤防の決壊などが発生し、甚大な被害が発生する事例が増えています。

日頃からの備えを確認するとともに、気象に関する情報を入手するために、テレビやラジオ、インターネットを使った情報収集の方法について確認しておきましょう。

災害時には「自らの命は自らが守る」意識を持ち、適切な避難行動をとりましょう。

新型コロナウイルス感染症 避難時対応

知っておくべき5つのポイント

- 避難とは[難]を[避]けること。
安全な場所にいる人まで避難場所に行く必要はありません。
(在宅避難)
- 避難先は、小中学校・公民館等ではありません。
安全な親戚・知人宅に避難することも考えてみましょう。
(縁故避難)
- マスク・消毒液・体温計が不足しています。できるだけ自ら携行して下さい。常備薬、スリッパ、タオル等も持参しましょう。
- 町が指定する緊急避難場所、避難所が、変更・増設されている可能性があります。
災害時には、防災行政無線・町ホームページ等で確認して下さい。(避難所避難)
- 豪雨時の屋外の移動は、車も含め危険です。
やむをえず車中泊をする場合は、浸水しないよう周囲の状況等を十分確認して下さい。(車中避難)

新型コロナウイルス感染症が収束しない中でも、

災害時には、危険な場所にいる人は避難することが原則です。